

第 339 回 狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 平成 30 年 8 月 21 日（火）午後 4 時 2 分～4 時 16 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長
副本部長 水野副市長
副本部長 有馬教育長
本部員 石森参与兼児童青少年部長
本部員 高橋企画財政部長
本部員 上田総務部長
本部員 榎本市民生活部長
本部員 石橋福祉保健部長
本部員 清水環境部長
本部員 小俣都市建設部長
本部員 小川議会事務局長
本部員 平林教育部長
事務局 田部井政策室長
佐々木企画調整担当主任
西村企画調整担当主事
- 4 欠席者
- 5 議 題
 1. 狛江市実行プラン（進捗管理 平成 30 年度版）（案）について
 2. 狛江市第 5 次行財政改革推進計画（進捗管理 平成 30 年度版）（案）について
 3. 狛江市総合戦略の進捗管理について
 4. 平成 30 年度内部評価結果報告書（平成 29 年度実施事業評価）（案）について
 5. その他
- 6 会議概要

本部長 それでは、議題 1「狛江市実行プラン（進捗管理 平成 30 年度版）（案）について」説明をお願いします。

事務局 8 月 7 日の行財政改革推進本部会議からの主な変更点について説明する。主な変更点は軽微な文言修正を行ったのみで、大きな変更点はない。

今後の予定については、行財政改革推進本部会議及びこの後の庁議で承認いただければ、広報こまえ及び市ホームページで周知する。

本部長 特に意見等がなければ、行財政改革推進本部会議として承認するという事によろしいか。

（ 承 認 ）

次に議題 2「狛江市第 5 次行財政改革推進計画（進捗管理 平成 30 年度版）（案）について」説明をお願いします。

事務局 実行プランと同様、8 月 7 日の行財政改革推進本部会議からの主な変更点について説明する。

第 4「平成 29 年度の主な取組状況」について、11 ページの項番 31「補助金

等の活用」に「主権者教育」普及実践事業を実施した旨を記載した。また、17ページの項番65「公共施設等における省エネルギー推進」について、公園灯のLED化のみではなく、市が管理する街路灯についてもLED化した旨を記載した。

その他、適宜文言修正を行った。

今後の予定については、実行プランと同様、行財政改革推進本部会議及びこの後の庁議で承認いただければ、広報こまえ及び市ホームページで周知する。

本部長 特に意見等がなければ、行財政改革推進本部会議として承認するという事
でよろしいか。

(承 認)

次に議題3「狛江市総合戦略の進捗管理について」説明をお願いします。

事務局 実行プランと行財政改革推進計画同様、8月7日の行財政改革推進本部会議
からの主な変更点について説明する。

7ページ「基本方針1 魅力あるまちづくり」の「テーマ2 狛江の自然や文化をいかした活性化」の「(2) 魅力の発信」について、「平成29年度
の取組み」として、ご当地コレクションアイテムとして人気のあるマンホールカードを配布した旨を記載した。また、あわせて「平成30年度以降の取組み」に引き続き配布しPRを行う旨を記載した。

10ページ「基本方針2 子育てしやすいまちづくり」の「テーマ2 子育て環境の充実」の「(1) 保育ニーズに即応したサービスの充実」について、「平成29年度
の取組み」として、自主保育を実施している団体への補助を行った旨を記載した。また、あわせて「平成30年度以降の取組み」に引き続き補助を行う旨を記載した。

その他、適宜文言修正を行った。

今後の予定については、本日「狛江市総合戦略推進委員会」に提出する資料として了承いただければ、9月及び10月に開催予定の委員会を経て、報告書をまとめた
と考えている。

本部長 質問等はあるか。

副本部長 指標「日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れあう機会がある
高齢者の割合」について、指標が減少している理由は把握しているか。

事務局 高齢者には既存のコミュニティに加わることに抵抗がある方も多いため、周知・働きかけに一層の工夫を凝らす必要があると担当課から伺っている。

副本部長 原因や背景については明確にしておく必要がある。

本部長 高齢者が働ける機会が増加し、地域のコミュニティに加わる機会が減少したことが、
指標が下がった原因とも考えられるが、原因については引き続き調査する必要がある。

本部長 地域連携職員制度について、今年度以降の活用は検討しているか。

事務局 どのような形で地域の方と連携できるかについて、現在検討中である。

本 部 員 今後も本制度を活用して地域との連携を進めていくという解釈で良いか。

本 部 長 自治体によっては職員が地域を受け持ち、地域の方と行った意見交換の内容を各施策に反映するような制度となっているところもある。狛江市としてもどのような形で連携できるかについて、引き続き検討をお願いします。

他に意見等がなければ、狛江市総合戦略推進委員会に提出する資料とすることを決定することとする。

次に議題4「平成30年度内部評価結果報告書（平成29年度実施事業評価）（案）について」説明をお願いします。

事務局 各課に昨年度実施した事業の評価を依頼し、内容について報告書（案）として取りまとめた。

まず、5ページだが、「5 各分野ごとの評価結果」として、A B C Dの4段階で評価を行った結果について集計している。重点プロジェクトについては全167事業中、A評価が91件、B評価が74件、C評価が2件、D評価が0件となっている。個別施策については全341事業中、A評価が135件、B評価が203件、C評価が3件、D評価が0件となっている。

次に、8ページから43ページまでが、重点プロジェクトに関連する事業の評価を記載し、続く44ページから124ページまでが、個別施策に関連する事業の評価を記載している。

125ページからは「7 指標の検証」として、後期基本計画に定める64の指標のうち、昨年度の値が目指すべき方向に沿っていない指標について、その原因の検証を踏まえた今後の展開を記載している。

最後に、136ページからが、後期基本計画に定める64の指標について、実行プランから転載したものになる。

今後の予定については、8月28日までに各部においてご確認いただき、その後内容を修正させていただいた上で、改めて行財政改革推進本部会議においてご審議いただきたいと思いますと考えている。

本 部 長 特に意見等がなければ、事務局から説明のあったスケジュールで進めることとし、第339回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。